

# スマートガレージ 操作アプリケーション2

## 操作説明

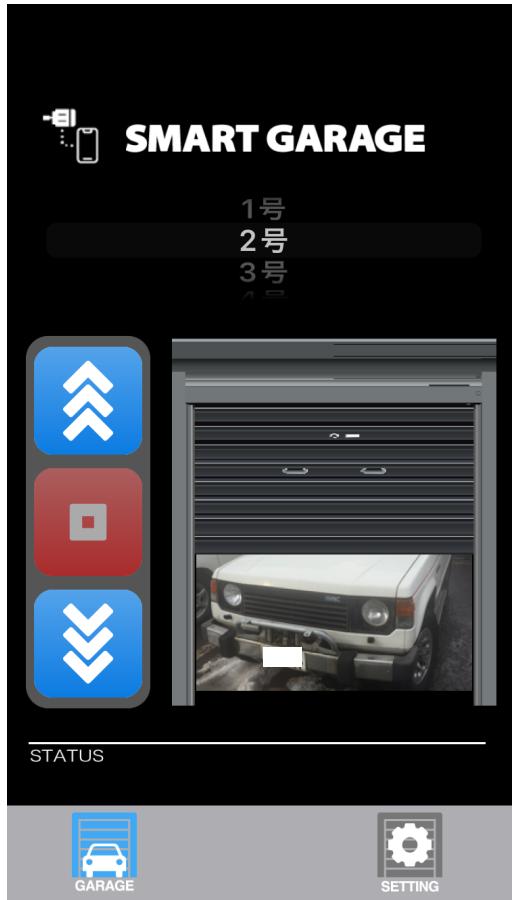
(窓タイプ用)

株式会社 システムデザイン

# 1. 画面構成

Bluetoothを使用するので、スマートホン、タブレット本体の設定からBluetooth機能をONする必要があります。  
iPhoneをご利用の方は、Apple Watchでも操作が可能です。

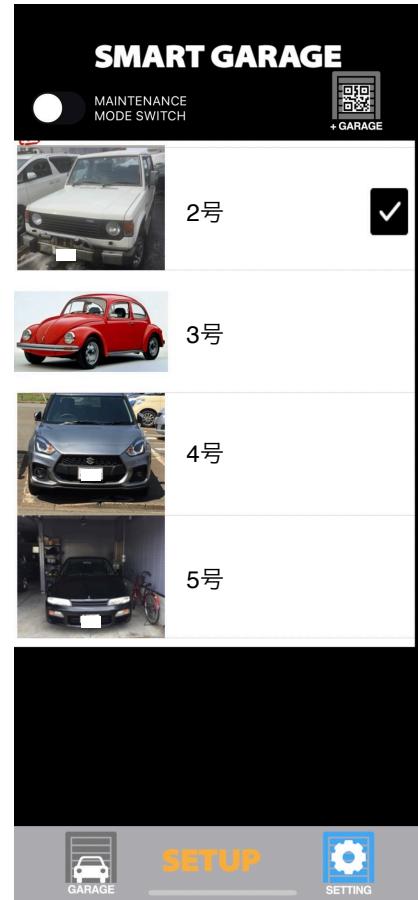
メイン画面



調整画面



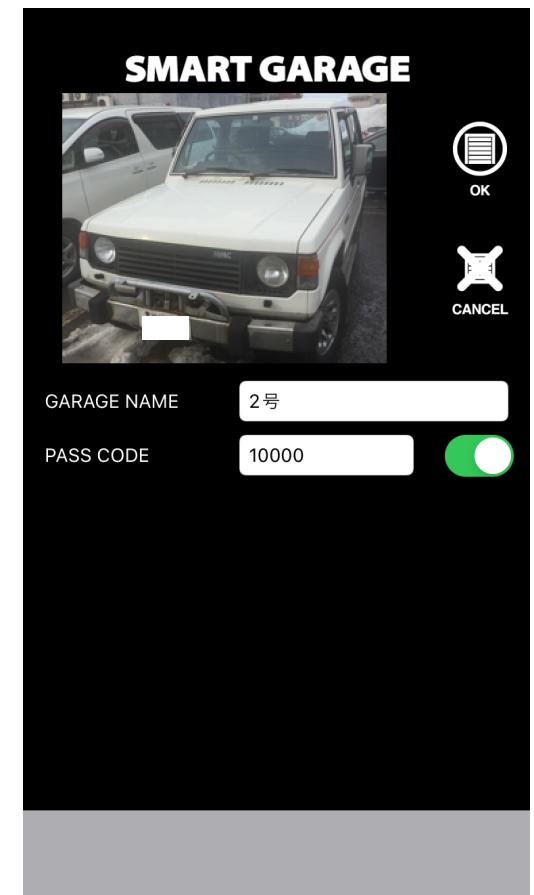
シャッター選択画面



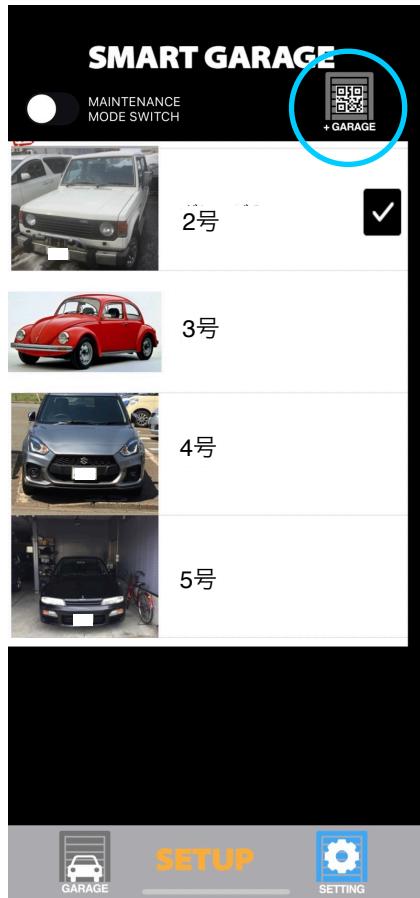
Apple Watch操作画面



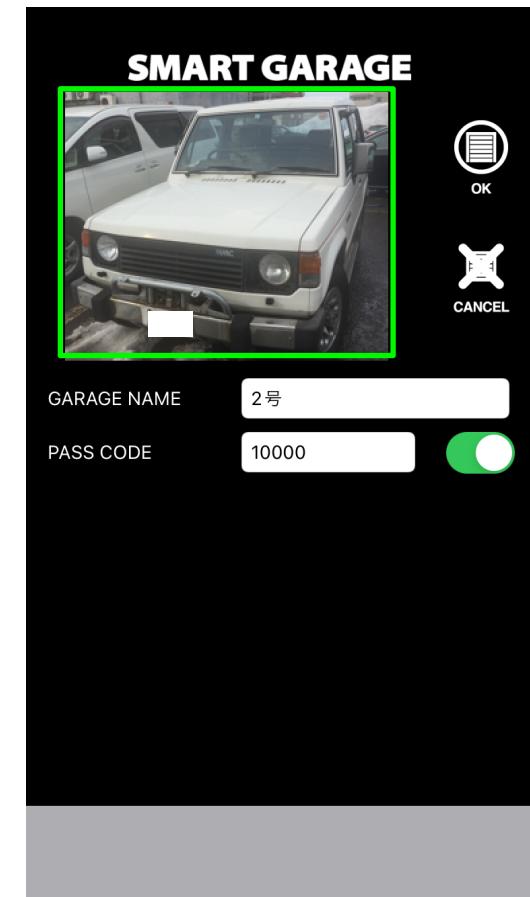
シャッター登録画面



## 2. シャッター登録方法

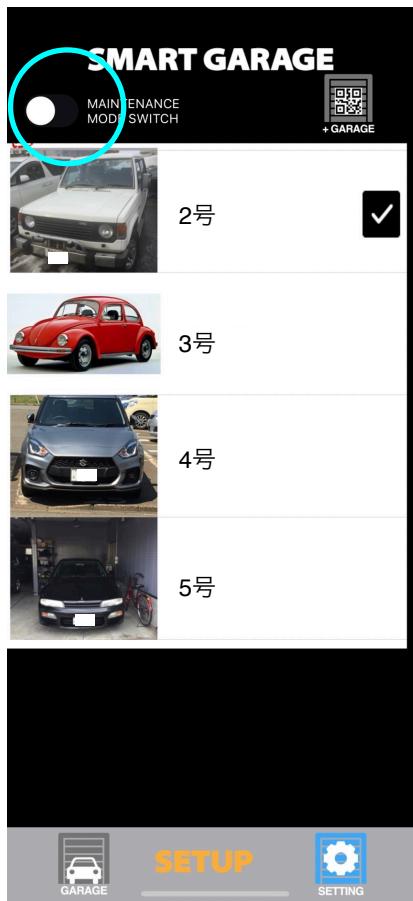


- ・シャッター選択画面を開きます。
- ・製品付属のQRコードを読み込んで、新たなシャッターを登録します。  
(同一スマートホンに同じQRコードは登録できません。)
- ・**青丸**で囲んだQRコード読み取りボタンをタップして  
シャッターを登録します。
- ・リストのシャッターを左をフリックすると、登録済みの  
シャッターの編集、削除が出来ます。

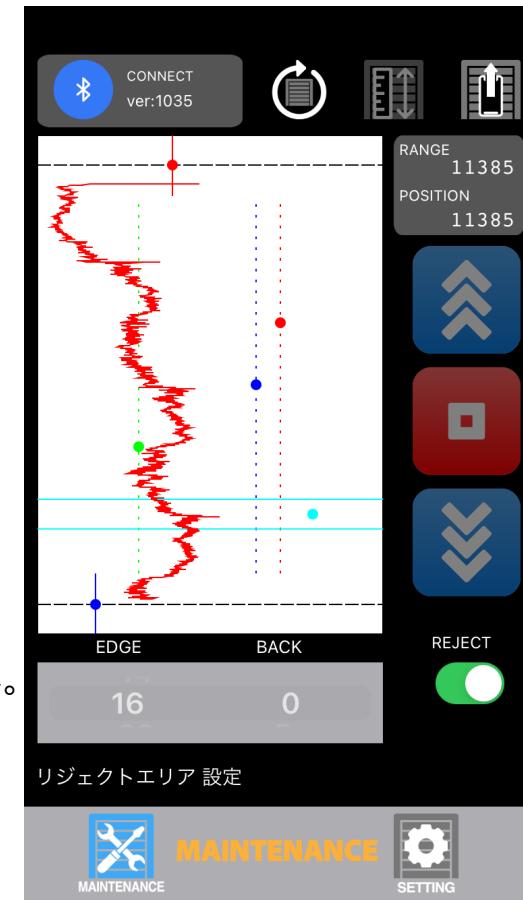


- ・QRコードを読み込むと、登録画面が表示されます。
- ・名前、写真、パスコード有無、パスコードが変更  
出来ます。
- ・シャッターの写真是**緑**で囲った写真をタップして、  
設定したい画像を選択してください。
- ・初めて登録したシャッターは、パスコード有無、パスコ  
ードの変更はしないでください。
- ・メンテナンスマードではパスコードが必要となります。
- ・OKボタンをタップして登録します

### 3. シャッター調整手順



- ・シャッター選択画面を選択します。
- ・調整するシャッターをリストから選択します。
- ・**青丸**で囲ったメンテナスモードボタンをタップして、通常モードからメンテナスモード(ノブが右側)に変更します。
- ・この状態でメイン画面に戻ると、調整画面が表示されます。



- ・初めて調整する場合、右の画像の様なグラフ表示はされていません。
- ・まず、登録したシャッターに接続出来るか確認します。
- ・接続ボタンをタップしてシャッターに接続します。



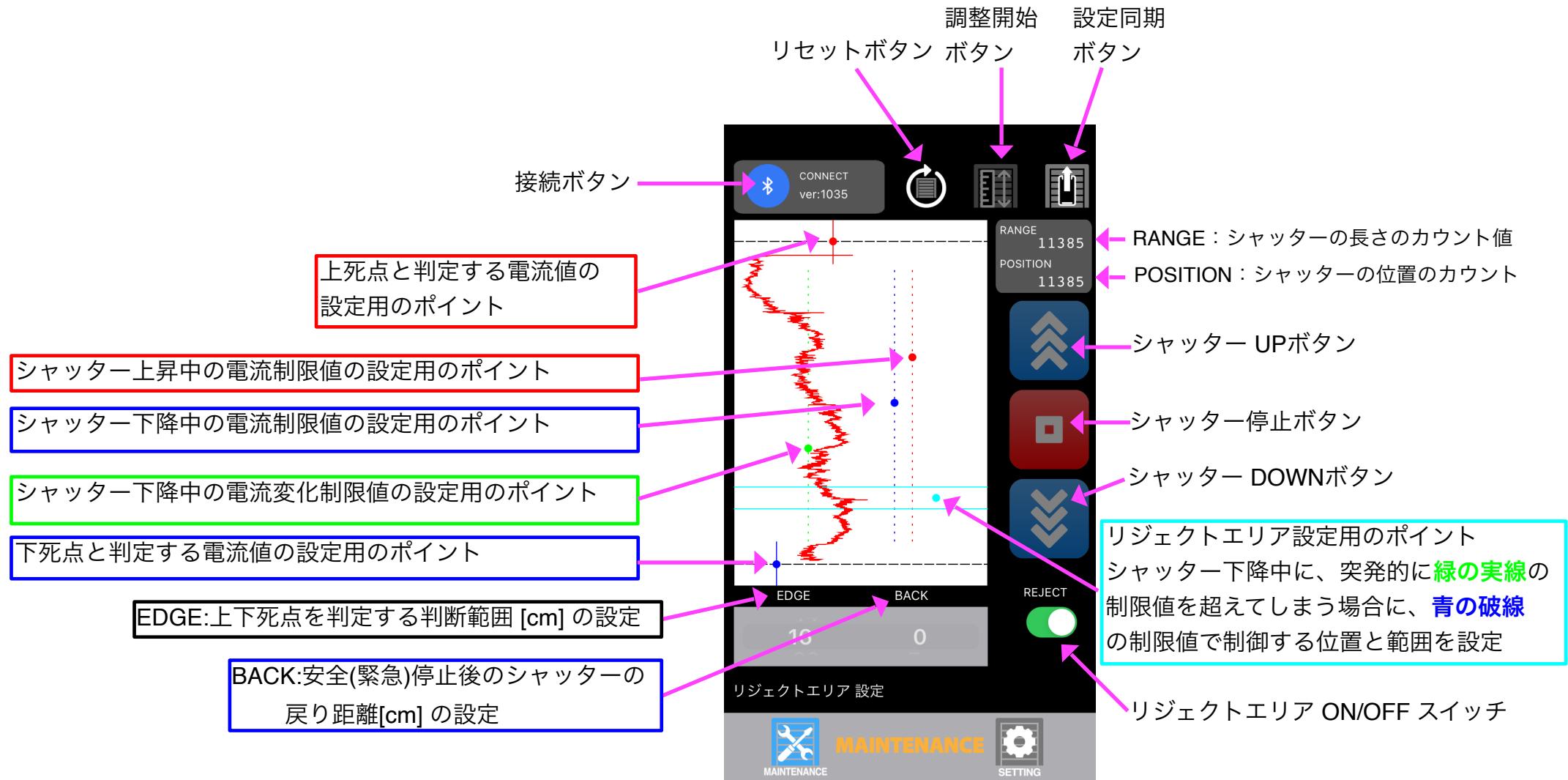
接続ボタン(非接続時)



接続ボタン(接続時)

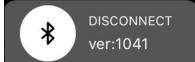
- ・シャッターへの接続が成功すると、接続ボタンが青くなり、接続ボタンの右に[CONNECT]と表示されます。
- UPボタン、DOWNボタン等も使えるようになります。

## 調整画面の説明



## シャッターの調整

a. 窓シャッター電動化KITの機械部分を取り付けた直後、シャッターは全閉状態だと思われます。

b. 接続ボタン  をタップして、接続してください(接続が出来ると、接続ボタンが青  に変わります)。

c. 接続出来たら、調整ボタン  をタップして調整を開始します。

d. まず、シャッター上昇時の調整を行います。

スマートホン画面の下部に「安全を確認して UPボタンをタップしてください」と表示されるので、UPボタンをタップしてシャッターを上げて、全開状態にします。

e. シャッターが上昇していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、シャッターが止まるまで待ちます。

シャッターが上昇途中で止まってしまう場合は、上昇中の電流制限値を超えていると思われる所以

### シャッター上昇中の電流制限値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させてください。

上昇中の電流制限値を上げてから、再度調整を初めからやり直してください。

(ある程度のマージンをとって設定します)

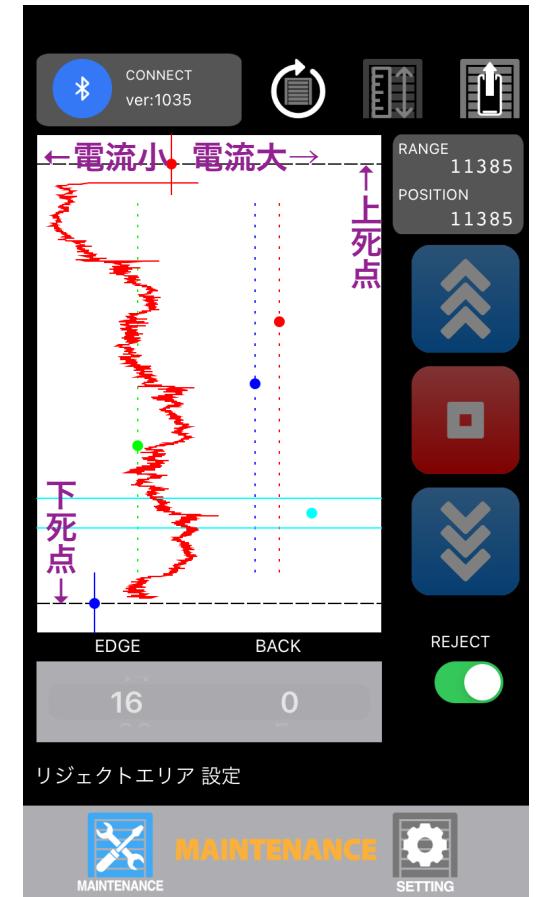
再度調整する場合、接続ボタン  をタップして接続解除してから、再度接続を行ってください。

シャッターが上端付近で止まる場合は、

### 上死点と判定する電流値の設定用のポイント

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

シャッターが上がりきると、「全開ですか? 確認して DOWNボタンをタップしてください」と表示されます。



④ 次にシャッターダウン時の設定を行います。

DOWNボタンをタップして、シャッターを下降させます。

シャッターが下降していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、

シャッターが止まるまで待ちます。

シャッターが下降途中で止まってしまう場合は、下降中の電流制限値を超えていると  
思われる所以

**シャッターダウン中の電流制限値の設定用のポイント** (縦方向の青の破線)

**シャッターダウン中の電流変化制限値の設定用のポイント** (緑の実線)

をグラフの右側へ移動させて

下降中の制限値を上げてから、再度調整を初めからやり直してください。

(ある程度のマージンをとって設定します)

シャッターが下端付近で止まる場合は、

**下死点と判定する電流値の設定用のポイント**

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

シャッターが全閉するようになったら、設定同期ボタン  をタップして設定します

シャッターダウン時にシャッターの引っ掛かり等により、偶発的に制限値を超えてしまい  
停止することがあります。その様な状況が発生する場合はリジェクトエリアを使用します。

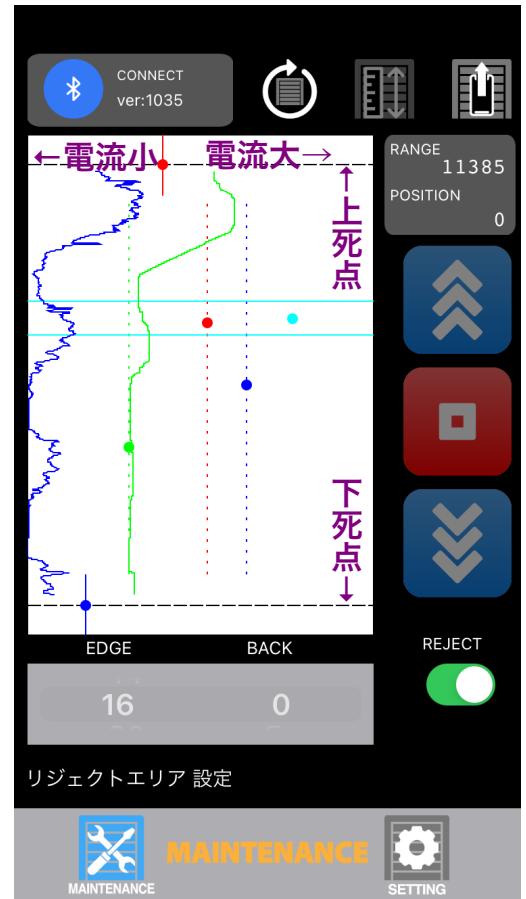
リジェクトエリア ON/OFF スイッチをON(ノブが右側)にします。

すると、**リジェクトエリア設定用のポイント** が表示されます。

偶発的に止まってしまう位置(上下方向)に移動させ、左右方向に移動させて、そのエリアが  
含まれるように範囲を設定します。

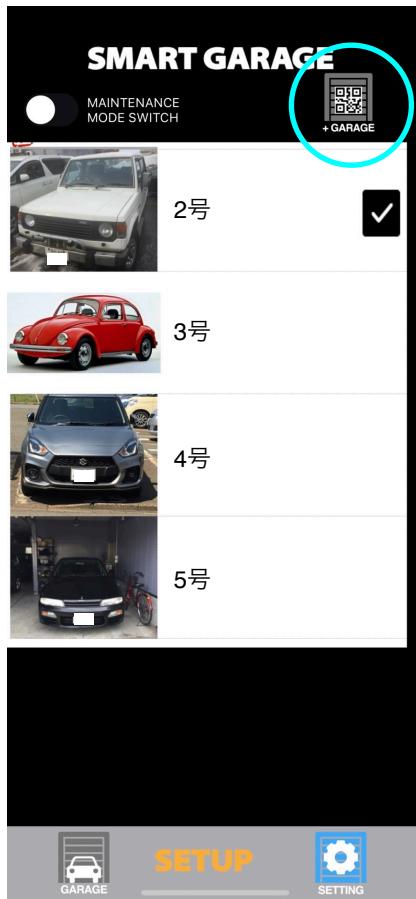
設定したリジェクトエリアでは、**緑のライン(曲線)**の制限値ではなくて、**青の破線**の制限値で  
制御します。

リジェクトエリアを設定したら、設定同期ボタン  で設定をしてください。

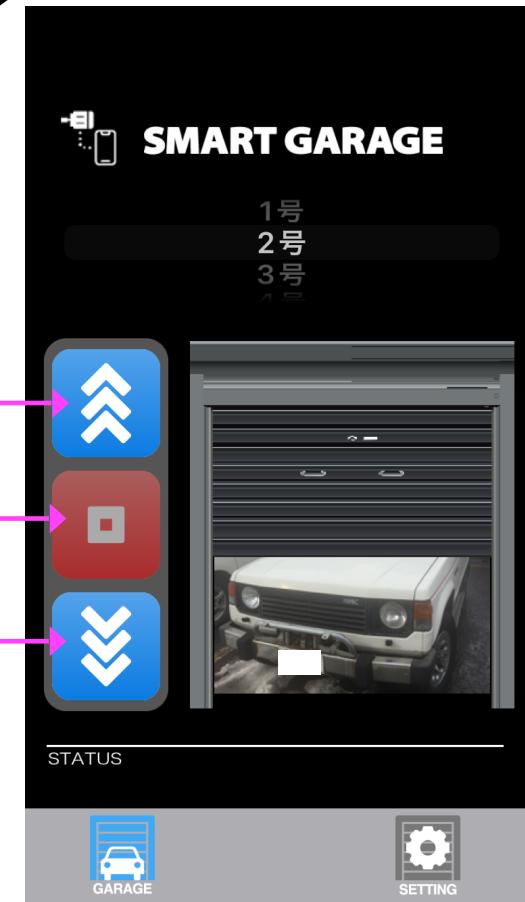


ここまで電動シャッターの調整は終了です。

#### 4. 通常モードでのシャッターの開け閉め



- ・シャッター選択画面を選択します。
- ・青丸で囲ったメンテナンスモードボタンをタップして、通常モード(ノブが左)に変更します。
- ・この状態でメイン画面に戻ると、通常モードのシャッター開閉操作画面が表示されます。

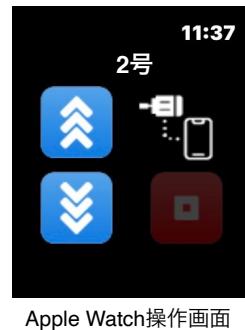


- ・上昇ボタンをタップするとシャッターが上昇します
- ・下降ボタンをタップするとシャッターが下降します
- ・停止ボタンをタップすると動作中のシャッターが停止します。

## 5. Apple Watch操作方法に



- Smart Garage2アプリで、操作したいシャッターのメイン画面を表示させると、Apple Watchに同シャッターが選択されます。
- Apple Watchの「Digital Crown」を回すことで、操作したいシャッターの選択が可能です。
- iPhoneでは、Smart Garage2アプリを起動させた状態でご使用ください。



Apple Watch操作画面



11:37

- 上昇ボタンをタップするとシャッターが上昇します
- 下降ボタンをタップするとシャッターが下降します
- 停止ボタンをタップすると動作中のシャッターが停止します。
- ご使用になる当社製品により、表示される画面が異なる場合があります。
- iPhone側で「メイン画面」以外を表示の場合、Apple Watch側では操作頂けないので、ご注意下さい。



11:38

上昇/下降/停止  
ボタン

リモコンが1ボタン式の場合の操作画面  
(コンバーターまたは、  
Aスイッチをお使いの場合)

